

西日本フィナンシャルホールディングス

西日本FHD

TAKE
FREE

ミニディスクロージャー誌 2026年3月期 2025年4月1日～2026年3月31日

©GROOVISIONS



特集 1

中期経営計画

特集 2

西日本シティビル開業

福岡・博多の景観

グループブランドスローガン

ココロがある。コタエがある。

グループ経営理念

私たちは、
「高い志と誇りを持って時代の変化に適応し、
お客さまとともに成長する
総合力No.1の地域金融グループ」
を目指します。



ごあいさつ

3 ～ともに歩む、未来を拓く～

お客さま・地域・従業員・株主から最も支持され、
選ばれる地域金融グループへ

特集1

5 中期経営計画

未来共創2029～ともに歩む、未来を拓く～

特集2

7 西日本シティビル開業 人と地域の交流拠点

Medium-Term Business Plan

13 基本戦略1
お客さま起点の
“One to Oneソリューション”の提供

19 基本戦略2
地域振興戦略

25 新ふるさと発見誌『九州流 Kyushu-Ryu』16号

26 安心に向けた取組み

27 業績ハイライト

29 プロフィール

30 ネットワーク・株式のご案内

くとも歩む、未来を拓く

お客さま・地域・従業員・株主から最も支持され、選ばれる地域金融グループへ

今般、西日本シティ銀行の職員による職場内での不適切な撮影およびSNSへの投稿により、お客さま、株主の皆さまをはじめ多くの皆さまに多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

当社グループでは、本件を厳粛に受け止め、事実関係の確認、お客さま対応、原因分析を踏まえた再発防止策の策定・実施を進

めており、再発防止と信頼回復に取り組んでまいります。

中期経営計画

「未来共創2029」ともに歩む、未来を拓く

○長期的に目指す姿と
本中計の位置づけ

当社グループは、本年4月に中期経営計画「未来共創2029」ともに歩む、未来を拓く

く」をスタートさせました。本中計は、「お客さ

まからの支持を高めながら、収益力向上を目指す」という前中計までの目標を発展させ、

「お客さま・地域・従業員・株主から最も支持され、選ばれる地域金融グループ」となることを「長期的に目指す姿」として設定しました。

そのうえで、本中計期間を、その実現に向けた取組みを加速する3年間と位置付け、バックキャストイングで計画を策定しました。

○タイトルに込めた想い

本中計の表題である「未来共創2029」、副題「ともに歩む、未来を拓く」は、長期的に目指す姿や当社グループの存在意義、提供価値等を端的に表現したもので、地域の皆さまとともに新たな未来を切り拓いていく決意を込めたものです。

○本中計の基本戦略

当社グループの主要地盤である九州・福岡は、大型再開発プロジェクトや半導体を中心とした産業集積が進むほか、インバウンド需要も旺盛な恵まれたマーケット環境にあり、引き続き金融・非金融のさまざまな領域においてビジネス機会が見込まれます。

他方、人口減少・少子高齢化やAI等テクノロジーの急速な進化、金利のある世界の到来等を背景に、お客さまや地域の課題・ニーズは一段と多様化・高度化しています。

こうした環境のもと、これまで強化して

きたソリューション機能をさらに充実させるとともに、それらをスピーディかつ多面的に提供するための本部サポート態勢およびリアル・デジタルチャネルの機能を拡充していきます。これによりお客さまとのリレーションを二層強化し、総合取引の拡大につなげていきます。

また、当社グループの経営基盤強化に向け、リスクアパタイト・フレームワークの高度化やAI活用の本格化、人的資本の強化等にも取り組んでいきます。

本中計では、「お客さま起点のOne to Oneソリューション」の提供、「地域振興戦略」「経営基盤強化戦略」の3つの基本戦略を展開し、地域社会の持続的な発展と当社グループの企業価値の向上を目指してまいります。

基本戦略①

お客さま起点のOne to Oneソリューションの提供

○企業へのソリューション提供

社会・経済環境の変化を背景に多様化・高度化する企業の経営課題・ニーズに対し、当社グループ一体となって取引先に応じた

中期経営計画

「未来共創2029」ともに歩む、未来を拓く

社会課題の解決

基本戦略	1. お客さま起点の「One to Oneソリューション」の提供
重点施策	(1) 企業へのソリューション提供 (2) 個人のお客さまへのソリューション提供 (3) ベストミックスチャネルの構築
基本戦略	2. 地域振興戦略
重点施策	(1) 地域の課題解決・まちづくりへの貢献 (2) スタートアップ支援・創業支援

経営基盤の強化

基本戦略	3. 経営基盤強化戦略
重点施策	(1) リスクアパタイト・フレームワークの高度化 (2) AI活用による業務変革 (3) 人的資本の強化 (4) サステナビリティの向上

金融・非金融のソリューションを提供することで、地域の企業から最も信頼されるパートナーを目指します。

金融分野では、日々のリレーションを通じて深い顧客理解を通じて、円滑な資金供給と粘着性の高い預金の獲得を目指します。ストラクチャードファイナンスの専門人財を倍増するなど、多様な資金供給手段を強化していきます。

非金融分野では、本部サポート機能を、新設する「経営サポートグループ」に集約し、お客さまの課題・ニーズを共有しながらスピーディかつ多面的に対応できる態勢を構築します。人材関連支援、デジタル化・DX支援などの各事業領域では、態勢・機能のさらなる強化に取り組みます。

たとえば、NCBリサーチ&コンサルティング(R&C)は、株式会社ONODERA USER RUN(OUR)との連携を通じて、福岡県内での特定技能外国人材の雇用促進を強化しています。本年3月、OURは、インドネシアの教育施設に、福岡の地域文化教育を取り入れた「福岡クラス」を新設しました。育成した人材については、R&Cが本年9月ごろから、県内の病院等へ紹介していく予定です。

○個人のお客さまへのソリューション提供

お客さまの資産・負債全体を見渡したコンサルティング営業を展開し、ライフステージに応じた最適なソリューションを提供するとともに、日常的に利用する口座としての魅力を高め、お客さまの豊かな暮らしを支えるパートナーを目指します。

NISA・iDeCoを起点とした個々の

お客さまに最適な資産運用提案や、ライフステージに応じた各種ローンの提供などを通じて、安定的な資産形成支援に取り組んでいきます。また、給振・年金、カード決済・口座振替などの入出金取引の拡大や新たなインセンティブプログラムの導入等にも取り組んでいきます。

本年4月には、インターネットを介した不正送金等のサイバー犯罪から大切な資産を守りつつ(セキュリティ)、金利優遇を受けられる(プレミア)貯蓄預金「NCBセキユア・プレミア」の取扱いを開始しました。

○ベストミックスチャネルの構築

リアルデジタルの各チャネルの機能を強化するとともに、お客さまの情報をチャネル間で共有することで、個々のお客さまに最適なソリューションをシームレスに提供します。

リアルチャネルについては、前中計に引き続き、老朽化した店舗のリニューアルを積極的に進めていくなど、対面でのコンサルティング態勢を整備していきます。前中計では13か店の建替えリノベーションを実施し、本中計でも15か店程度のリニューアルを予定しています。また本年4月、「住宅ローンプラザ西新」を新設するなど専門拠点の拡充にも取り組んでいます。

デジタルチャネルについては、機能拡充などを通じて、UI・UXの改善に継続的に取り組めます。本年5月、個人向けの「西日本シティ銀行アプリ」の利便性向上に向け、ホームページなどのデザインを刷新しました。また、法人向けの「NCBビジネスステージ」についても、本中計で、請求書受領から資金決済までをシームレスに繋ぐ新機能を導入予定です。

基本戦略②

地域振興戦略

○地域の課題解決・まちづくりへの貢献

当社グループは、「地域の発展なくして当社グループの発展なし」の信念のもと、内外のプレーヤーと連携しつつ、地域の課題解決やまちづくりに貢献していきます。

本年7月に博多駅前に開業する新本店ビル「西日本シティビル」を活用した賑わい創出にも取り組めます。

○スタートアップ支援・創業支援

当社グループが脈々と継承してきた「中小企業育成のDNA」を体現し、金融・非金融の両面から創業企業やスタートアップの成長を後押しします。

本年4月には、「スタートアップ支援室」を新設し、スタートアップの発掘や関係構築に注力するほか、本年7月には、創業支援の新拠点として、西日本シティビルに「NCB創業応援サロンHAKATA」を設置し、創業企業との接点をより一層拡大します。

基本戦略③

経営基盤強化戦略

○AI活用による業務変革

IT・DXを主業とするシティアスコムやイジゲングループの知見や技術力などを活用しながら、グループ一体となつて、省力化・高度化の両面から生成AIの業務への活用を本格的に進めていきます。省力化等により捻出された人財リソースは重点分野へ再配置し、生産性向上につなげていきます。

西日本フィナンシャルホールディングス
代表取締役社長
村上 英之

○人的資本の強化

当社グループの将来を担う戦略人財の育成を加速するとともに、働きがい向上に向けた環境整備やインナーブランディングの強化等を通じて、多様な人財が活躍する組織風土を構築します。

○サステナビリティの向上

サステナビリティを巡る課題への対応を経営戦略上の重要事項と位置付け、地域金融グループならではの取組みを推進し、地域と当社自身のサステナビリティを実現してまいります。

終わりに

これからも、地域とのつながりを大切にしながら、当社グループ一丸となつて、より高い目標に挑戦し、お客さま・地域の皆さまとともに成長を続けてまいります。

今後とも二層のご支援・ご愛顧をよろしくお願い申し上げます。



中期経営計画
2026年4月～2029年3月

未来共創2029

～ともに歩む、未来を拓く～

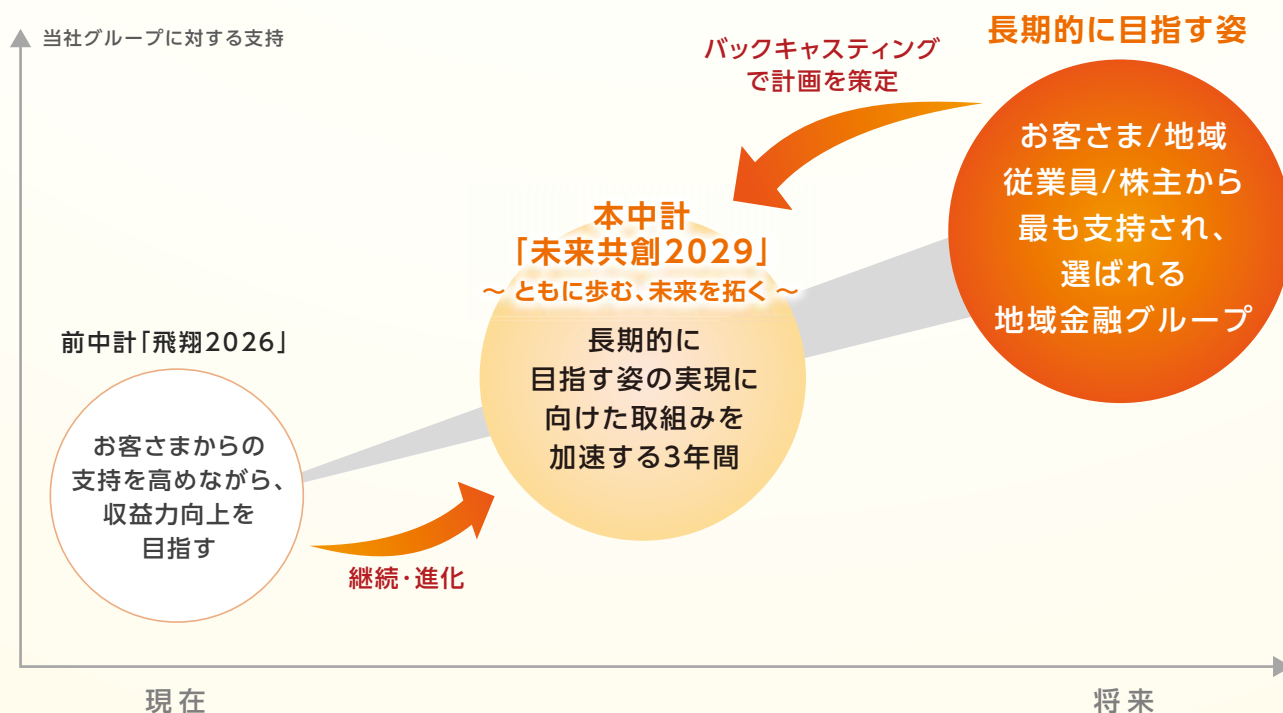
西日本フィナンシャルホールディングスは、2026年4月から2029年3月までの3年間を計画期間とする中期経営計画「未来共創2029～ともに歩む、未来を拓く～」をスタートさせました。

「未来共創」という表題、「ともに歩む、未来を拓く」という副題は、長期的に目指す姿や当社グループの存在意義、提供価値等を端的に表現したもので、地域の皆さまとともに新たな未来を切り拓いていくとの決意を込めています。

今回、新たに「長期的に目指す姿」を設定し、本中計はその実現に向けた取組みを加速する3年間と位置付け、バックカスティング※で計画を策定しました。

※目標とする未来像を描き、次にその未来像を実現するための道筋を未来から現在へさかのぼって記述する手法のこと

長期的に目指す姿と本中計の位置づけ



基本戦略及び重点施策

社会課題の解決

基本戦略	1. お客さま起点の“One to Oneソリューション”の提供
重点施策	(1) 企業へのソリューション提供
	(2) 個人のお客さまへのソリューション提供
	(3) ベストミックスチャネルの構築
基本戦略	2. 地域振興戦略
重点施策	(1) 地域の課題解決・まちづくりへの貢献
	(2) スタートアップ支援・創業支援

経営基盤の強化

基本戦略	3. 経営基盤強化戦略
重点施策	(1) リスクアペタイト・フレームワークの高度化
	(2) AI活用による業務変革
	(3) 人的資本の強化
	(4) サステナビリティの向上

目指す経営指標（政策金利の前提：1.0％）

		26/3期		29/3期計画
収益性	連結当期純利益 ※()内はNCB以外のグループ各社の寄与額	401億円 (48億円)	▶	600億円 (55億円)
	連結ROE	6.89%	▶	9%程度
効率性	連結OHR ※国債等債券損益、投信解約損益を除く	58.7%	▶	50%台前半
健全性	連結自己資本比率 ※バーゼルⅢ最終化完全適用ベース	10.24%	▶	10%台前半

特集 2

西日本シティビル開業

人と地域の交流拠点

2026年7月21日に開業する
「西日本シティビル」についてご紹介します。

博多駅前の
ランドマークとなる
洗練されたデザイン

デンマークで設立され、世界6か国を拠点に活動する国際的な建築設計事務所「3XN Architects」(スリーエックスエヌアーキテクト)が内外装のデザインを手掛けた国内初の建築物です。建物のコーナー部を持ち上げることで人々を迎え入れる空間を形成し、9階には切り込みを設けて建物のボリュームを分節することで、周辺街区のスケールに調和させています。また、鋸歯状のタイルとガラスの外装が互いに影を作り合い、直射日光を遮るため、建物内部のエネルギー負荷を大幅に低減すると同時に、周囲への光の反射を抑えることで、周辺環境にも配慮しています。



「コネクティッドコア」地上広場

賑わいを創出する広場空間

大規模立体広場「コネクティッドコア」は、博多まちづくり推進協議会と連携したさまざまなイベント利用に対応し、博多駅前の賑わいの広がりに貢献します。

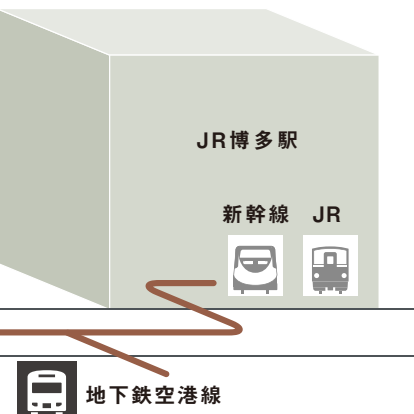
地上広場は商業施設が隣接しており、博多駅から住吉通りやはかた駅前通りへの連続した賑わいを創出し、回遊性の向上に繋がります。



「コネクティッドコア」地下広場

緑あふれる快適な歩行者空間

主要通り沿いは、壁面後退により広場と一体となった歩行者空間を整備し、敷地内には四季を感じられる花や中低木のほか、帯状の壁面緑化や柱緑化、植栽一体型のベンチを配置し、まちに彩りと潤いをもたらすとともに、快適な歩行者空間と憩いの場を創出します。



優れた環境配慮技術を
積極的に採用

博多駅前のランドマークに相応しいビルを目指し、「ZEB Ready」をはじめ国内外の先進的な7種類の環境関連認証(予備認証を含む)を取得しました。

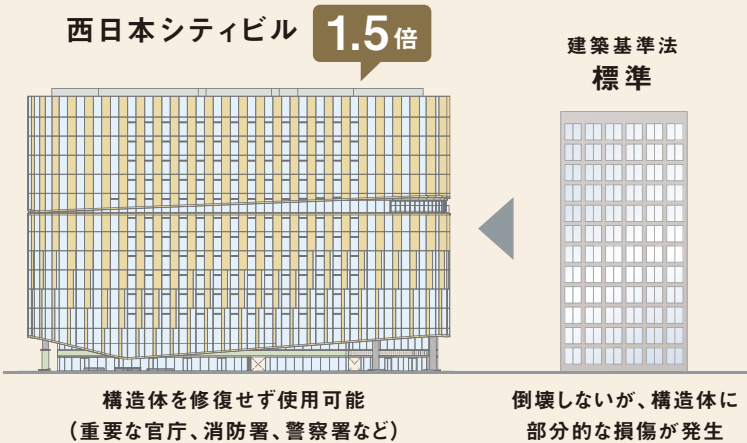
①BELS 「ZEB Ready」 認証取得 	②WELL 認証 (WELL Core) 「ゴールドランク」 予備認証取得 
③LEED 認証「ゴールドランク」予備認証取得	
④DBJ Green Building 認証「5リング」プラン認証(予備認証)取得	
⑤CASBEE福岡「Sランク」認証取得	
⑥CASBEE-ウェルネスオフィス評価「Sランク」認証取得	
⑦CASBEE SDGs「5リング」取得(自己評価)	

BCPに対応した
ハイグレードオフィス

福岡で数少ない大規模免震構造を採用し、法定の1.5倍の耐震構造を実現しました。また、災害時のライフライン寸断に備えて、72時間対応のデュアルフェューエルガスタージン発電機※を設置し、非常時においても電力供給、エレベーターや共用部照明の稼働、トイレの利用を可能としています。

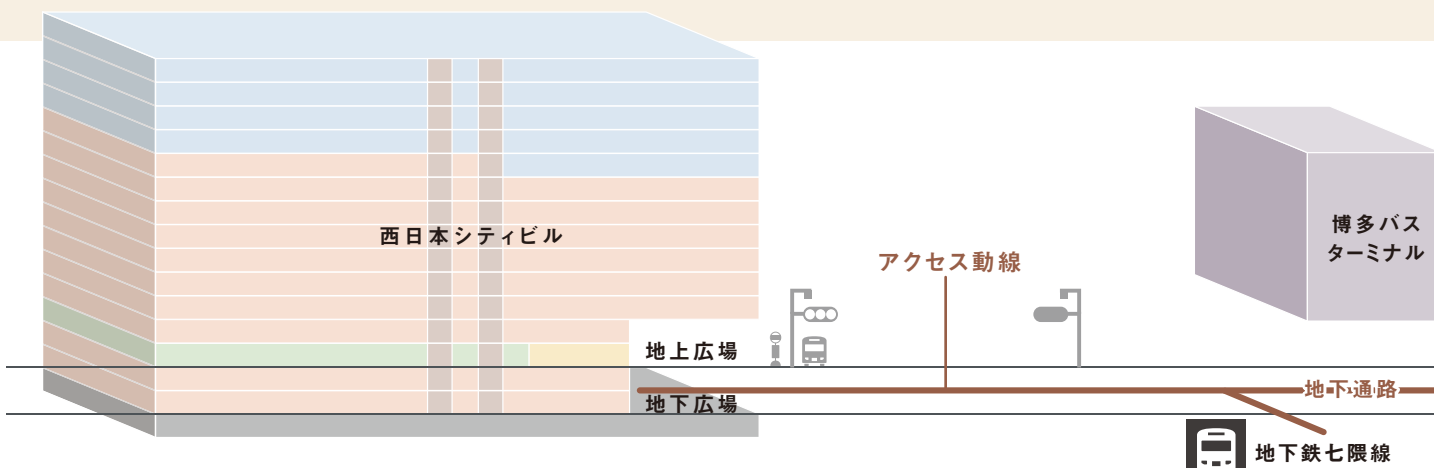
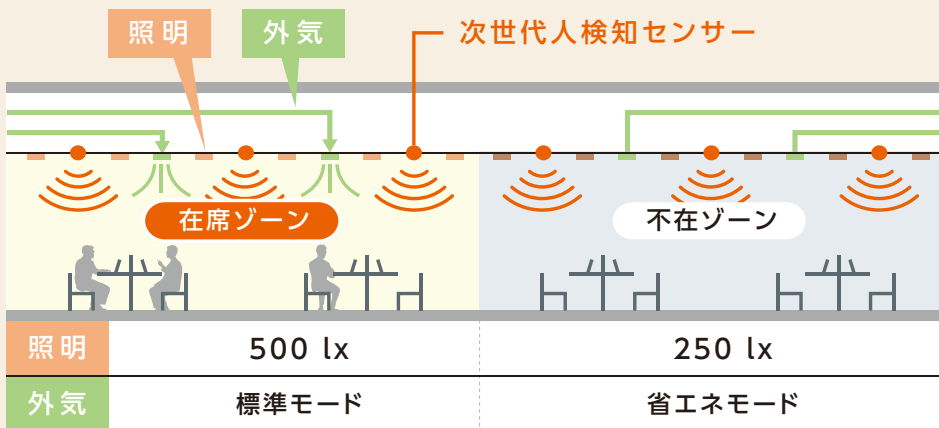
さらに、帰宅困難者向け一時滞在施設としての機能や備蓄倉庫を備えるなどBCP対応を強化した強靱性の高いまちづくりに貢献する高機能複合ビルです。

※液体燃料と気体燃料の2種類を併用して発電する発電機



次世代人検知センサー
「TiZone Saver」を導入

人検知センサーで取得した人の在・不在情報およびエリア内人数の算定機能(在所率)を活用し、照明・空調・外気量を自動で制御し、必要な時に必要な場所だけを快適な明るさ・温度・換気量に保つことで省エネルギー化を図り、働きやすさと環境負荷軽減の両立に取り組みます。



オフィスフロア

H

銀行フロア I

D

A B C F

D J

地上広場

地下広場

博多駅直結

A wide-angle photograph of a large, empty lecture hall. Rows of wooden desks and chairs are arranged in a tiered fashion, facing towards the front of the room. The room has a high ceiling with exposed ductwork and a large window at the far end. The floor is covered with a patterned carpet.

9

NISHI-NIPPON CITY B

I 西日本シティ銀行 本部 (4階から9階一部)

明るく開放的な執務空間を整備し、集中作業やディスカッションなどその時々のワークシーンに合わせた多様な働き方が可能な設えです。部門間のコミュニケーション・コラボレーションの活性化を目指し、各階にコラボレーションスペースを設置したほか、気軽に打ち合わせができるクロッシングスペースや、エレベーターを使わずに上下階に行き来できる内階段を設置しました。

■執務空間



■クロッシングスペース



■コラボレーションスペース・ソロ (TEL) プース



■基準階鳥瞰図



J ローン福岡営業室／NCBほけんプラザ・福岡 (地下2階)

平日・土日も17時まで営業するローン・保険の専門拠点を設置します。ローン・保険の専門家が常駐しており、日頃、時間のないお客さまにも住宅ローンをはじめさまざまなローンや保険の見直し相談等にご利用いただけます。



C・F・G・Jは2026年7月21日オープン

13F				
12F				
11F				
10F				
9F	G			
8F				
7F				
6F				
5F				
4F				
3F				
2F				
1F	商業店舗			商業
B1F	E NCBホール			
B2F				
B3F				

G NCB創業応援サロンHAKATA (9階)

創業時の資金調達支援や経営課題に関する相談をワンストップで提供し、創業から企業の成長までをサポートする専門拠点として福岡(福岡市中央区天神)、北九州(北九州市小倉北区鍛冶町)に次ぐ3拠点目となる「NCB創業応援サロン」を設置します。定期的なセミナーやイベント開催のほか、土業等の専門家による出張相談会や週末限定のコミュニティラウンジなどを提供します。



H 食堂、ナレッジスペース (8階)

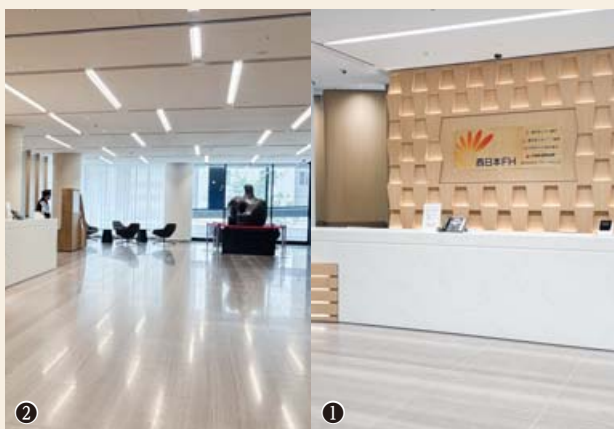
テーブル席・カウンター席・ファミレスブース席など計300席を配置し、飲食のほか、ミーティングやリフレッシュ&コミュニケーションにも適した空間です。また、職員の能力向上を目指し、新書やビジネス書などを配架しています。



人と地域をつなぐ、新しいエントランス。

空間そのものが、
心をほどく設計

「西日本シティビル」にご来館される皆さまに、少しでもリラックスした時間を過ごしていただけるよう、エントランスは落ち着いたある居心地の良い空間設計にこだわりました(①・②)。広々とした開放的なロビーには、洗練されたインテリアや温かみのある照明を配し、訪れる方の心を優しくほどこします。日常の喧騒から離れてゆつたりと穏やかな気持ちで過ごしていただける空間で、皆さまを丁寧にお迎えいたします。



地元作家の作品が彩る、
ギャラリーエントランス

グループ総合受付に併設された「NCBギャラリー」やグループエントランスのショーケースでは、地域貢献の二環として、西日本シティ銀行が所蔵する数々の美術品をテーマや企画に応じて展示しています(③・④・⑤)。開業から3年間は、福岡・博多など地元にくかりのある作家に焦点を当てた作品を中心に「Fukuoka Art Next」の流れも受けながら、まちの魅力と出会うきっかけをお届けします。なお、第一弾として、博多出身の作家で博多の伝統文化を発信してきた西島 伊三雄氏(1923-2001)の作品を展示します。

さらに「NCBギャラリー」横にはデジタルサイネージを設置し、地元福岡の豊かな季節感や美しい風景の移り変わりを大画面でお楽しみいただけます(⑥)。

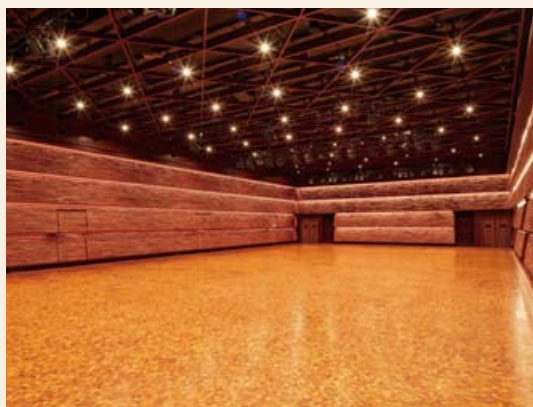
私たちは、「西日本シティビル」が金融機能を提供するだけの場所ではなく、地域の文化や芸術を身近に感じられる拠点でありたいと願っています。日常の中で銀行を訪れるほんのひとときが、新しいアートの発見やまちの魅力に触れる豊かな時間となるよう、芸術とデジタルが融合した新しいエントランスを通じて、地域の皆さまと深くつながり、心潤う上質なひとときをご提供してまいります。

まちに響く、新しい文化のステージ。

感動と交流を創出する、
多機能ホール

「西日本シティビル」の地下2階には、西日本シティビルの開業に先立ち、6月8日に「NCBホール」がオープンしました。「NCBホール」は、「ゴコロが響く。感動体験と、であいをつなぐ。交流を生み出す場」をコンセプトに掲げた、最大398名を収容できる多機能ホールです。

ホールの大きな特徴は、格調高い演奏環境と優れた音響性能にあります。天井や壁、床には九州産の木材をふんだんに使用しており、空間全体を温かく包み込むような最良の音場を実現しました。さらに、世界最高峰のフルコンサートピアノを2台常設し、プロの音楽家に



自由なレイアウト変更により、多彩なイベントの開催が可能



セミナーや会社説明会など幅広い用途に対応

よる本格的なクラシックコンサートから伝統芸能の公演まで、皆さまに最高の舞台を提供してまいります。

また、「NCBホール」は文化芸術の振興だけでなく、ビジネスシーンや地域社会にも貢献したいとの想いから、福岡では珍しい移動式ステージを備えた平土間形式を採用しており、レイアウトを自由に変更することができます。コンサート以外にも、セミナーや会社説明会、展示会、試験会場など、目的や規模に合わせた幅広い用途でご利用いただけます。

さらに、大災害発生時においては、帰宅困難者などの一時滞在施設としても開放します。

地域の皆さまが集い、心を躍らせる「音楽」や「文化」を分かち合うだけでなく、いざという時の「安心」も提供する、地域の新たな交流拠点として歩み始めます。

「NCBホール」の主な特徴

優れたアクセス

JR、地下鉄空港線・七隈線の「博多駅」や博多バスターミナルに直結し、福岡空港からも地下鉄利用で約10分と、国内外からのアクセスに優れています。

洗練されたデザイン空間

落ち着いた赤茶色を基調とした壁のウッドブロック・天井格子といったぬくもりある内装により、唯一無二の空間を提供します。



高い音響性能

天井や壁、床に九州産木材をふんだんに使用することで、木による優れた音響効果を実現します。



幅広い利用用途

展示会

セミナー

試験会場

会社説明会

「NCBホール」の概要

運営者	一般財団法人NCBホール財団
ホール形式	平土間形式
面積	ホール部分：約400㎡、ホワイエ部分：約240㎡
席数	シアター形式：最大398席、スクール形式：最大252席（2名掛け）
ステージサイズ	全体：幅11.3m/奥行4.5m/高さ0～60cm 移動式ステージ：幅5.9m/奥行4.5m/高さ45cm

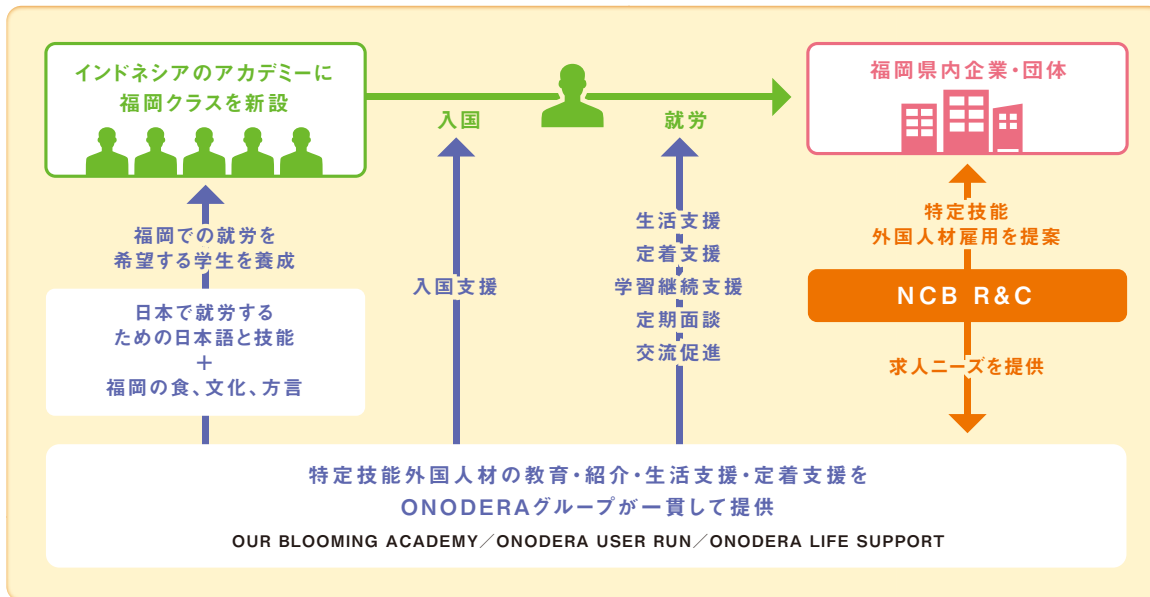
NCBリサーチ&コンサルティング

「福岡県内における特定技能外国人材の雇用促進の強化に関する連携協定」を締結

NCBリサーチ&コンサルティング（NCB R&C）は、2025年12月26日、株式会社ONODERA USER RUN（OUR）と「福岡県内における特定技能外国人材の雇用促進の強化に関する連携協定」を締結しました。人手不足が全国的に深刻化するなか、両企業が連携し、アジアの若者には選ばれる国・地域として福岡の競争力を高めることで、地域経済の発展と地域社会の活性化に寄与してまいります。



左からNCB R&C井野社長、西日本FH村上社長、OUR加藤社長



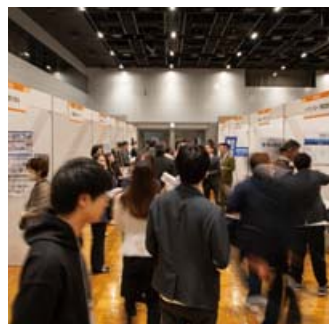
セミナー



白土常務による主催者挨拶



基調講演



相談ブース

西日本シティ銀行
イジゲングループ

NCBリサーチ&コンサルティング
シティキャリアサービス

「人事ソリューションサミット2026」を開催

西日本シティ銀行は、2026年2月25日、地域企業向けに採用や人材育成など人材に関する最新の動向やソリューションを伝えることを目的に、「人事ソリューションサミット2026」を開催しました。

当日は、基調講演やセミナーのほか、西日本FHのグループ会社や西日本シティ銀行のアライアンス企業など約20社が相談ブースを設け、約420名の経営者や人事担当者などに専門家の知見や人事課題解決に向けた具体策を提供しました。

セブン銀行ATMでの 普通預金口座開設受付サービスを開始

西日本シティ銀行は、2026年3月16日から、お客さまの利便性向上のため、セブン銀行ATMでの普通預金口座開設受付サービスを開始しました。

本サービスは、セブン銀行が提供する「Connect（プラスコネクト）」ATM窓口「サービスを活用したもので、お客さまは24時間365日、西日本シティ銀行の普通預金口座開設をお申込みいただくことが可能となりました。

口座開設受付サービスご利用の流れ



ステップ 1 セブン銀行ATMトップ画面の「各種お手続き」を選択します。



ステップ 2 「西日本シティ銀行」を選択します。



ステップ 3 本人確認書類の読取をします。



ステップ 4 お客さま情報を登録します。

お手続き
完了

高いセキュリティ セキュア



- インターネットバンキングや西日本シティ銀行アプリでの送金ができないため、インターネット経由の不正操作や乗っ取りのリスクを防ぎます。
- インターネットバンキングや西日本シティ銀行アプリ上には口座情報が表示されず、残高や取引履歴は通帳にてご確認ください。

金利優遇 プレミア

- 預入残高に応じて金利を段階的に優遇し、最大で店頭表示金利（貯蓄預金）に0.3%を上乗せします。

「NCBセキュア・プレミア」の取扱いを開始

西日本シティ銀行は、2026年4月1日から、貯蓄預金の新商品「NCBセキュア・プレミア」の取扱いを開始しました。

本商品は、インターネットを介した不正送金等サイバー犯罪から大切な資産を守りながら（セキュア）、金利の優遇が受けられる（プレミア）貯蓄預金です。

（注）本商品は、インターネットの利用を制限することで第三者による不正送金を防止しますが、すべての金融犯罪を防止するものではありません。

西日本シティ銀行

苅田・長住・佐賀・鳥栖・延岡支店を リニューアルオープン

西日本シティ銀行は、リアルチャネルを機能強化するため、老朽化した店舗のリニューアルを進めています。

2025年11月に苅田支店を、2026年1月に長住支店を、同年2月に佐賀支店と鳥栖支店を、同年3月に延岡支店をリニューアルしました。

リニューアル店舗の内装は、個室型のブースを設置するなどコンサルティングエリアを拡充し、落ち着いた雰囲気でご相談いただける空間としました。

長住支店



2026年1月
リニューアル



ライトアップの様子

鳥栖支店



2026年2月
リニューアル

苅田支店



2025年11月
リニューアル

延岡支店



2026年3月
リニューアル

佐賀支店



2026年2月
リニューアル

大分支店を新築移転オープン

西日本シティ銀行は、2026年3月16日、大分支店を新築移転オープンしました。

外観は、木目調とすることで温かみのある表情を持たせるとともに、縦に延びた逆三角形の柱は、大分の皆さまと成長するという「上昇力」を表現しています。

内装には、天井に「別府湾の波」をイメージしたデザインを取り入れたほか、個室型の相談ブースを設置するなどコンサルティングエリアを拡充し、落ち着いた雰囲気でご相談いただける空間としました。

また、環境負荷低減に向けた取組みとして、「Nearby ZEB」を取得しました。

※Nearby ZEBは、省エネ・創エネにより建物が従来必要とするエネルギーを25%以下まで削減した建物に与えられる認証

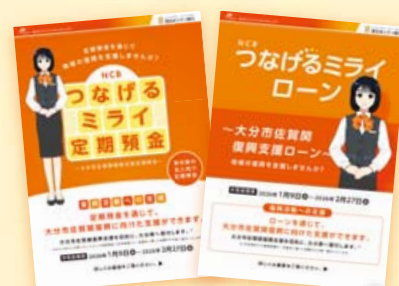


大分市佐賀関の大規模火災への復興に向けた義援金の贈呈式を行いました。

西日本シティ銀行は、「令和7年11月18日大分市佐賀関の大規模火災」の被災者支援および被災地の復興支援のため、取扱総額の一定割合を大分県に寄付する法人向けの商品「NCBつなげるミライ定期預金」および「NCBつなげるミライローン」を期間限定で取り扱い、152先のお客さまにご賛同いただきました。2026年3月16日の新築移転オープン時に義援金贈呈式を行い、村上頭取から佐藤大分県知事に義援金(目録)をお渡ししました。



義援金贈呈式



「住宅ローンプラザ西新」の新設

西日本シティ銀行は、2026年4月13日、西新中央支店内に「住宅ローンプラザ西新」を新設しました。「住宅ローンプラザ西新」では、豊富な知識と経験を持つ専門スタッフが、住宅ローンに関するお客さまからのさまざまなご相談やお申込みの手続きを迅速・丁寧に対応します。事前予約制ですので、左記の電話番号までお電話にてご予約の上、ご来店ください。

住宅ローンプラザ西新

営業時間

平 日	9:00~17:00
土 曜 日	10:00~17:00
日 曜 日	10:00~17:00

電話番号

092-836-2244

※5月3日~5月5日、12月31日~1月3日、土日以外の祝日、振替休日休業

「西日本シティ銀行アプリ」をリニューアル

西日本シティ銀行は、2026年5月18日、「西日本シティ銀行アプリ」をリニューアルし、お客さまの声をもとにホーム画面などのデザインをより見やすく、使いやすく刷新しました。

リニューアルの内容

Point 4

キーワード検索

使いたい機能やお得な情報をキーワードで検索できるようにしました。

Point 1

見やすく、使いやすいデザイン

白基調の画面デザインにより、ボタンや文字をより見やすく、また、アプリ画面内に各種機能の説明を追加しました。

振込・送金ボタン画面

メニュー画面



Point 2

きせかえ機能

ホーム画面の背景は約20種類の中から選んで設定することができます。



ホーム画面のイメージ

Point 5

お気に入り

ホーム画面の「お気に入り」に、良く使う機能を常時表示できるようにしました。

Point 3

キャンペーン

開催中のキャンペーンやお得な情報をまとめて確認しやすくしました。



「NCBビジネスステーション」の機能拡充・ 「NCBビジネスステーションアプリ」の取扱開始

西日本シティ銀行は、2020年に法人向けプラットフォーム「NCBビジネスステーション（パソコン版）」をリリースして以来、電子帳票交付サービスやNCBビジネスローン¹、テトラの導入など継続的な機能拡充を通じて、法人・個人事業主さまの利便性向上に努めています。2026年3月16日には、「デジタル通帳」を導入したほか、電子帳票交付サービスの対象帳票に残高証明書を追加しました。

他方、「NCBビジネスステーション」をより多くの事業者さまに場所を選ばずにご利用いただけるよう、新たなチャネルとして2025年12月25日に、「NCBビジネスステーションアプリ」（株式会社NTTデータと共同開発）の取扱いを開始し、西日本シティ銀行を含む複数の金融機関口座の残高・入出金明細照会など多彩なサービスをスマートフォンでご利用いただけるようになりました。

NCBビジネスステーション

決済・資金調達、業務効率化、経営・事業支援などに関する各種の機能やサービスがご利用いただけます。

1 業務の効率化

- 法人口座開設のWeb受付
- 電子帳票交付サービス
- 他行口座照会サービス

2 経営・事業の支援

- 西日本FH BigAdvance
- 補助金・助成金診断サービス
- コンテンツ配信



3 スマートな 資金調達

- NCBビジネスローン_テトラ
- NCBビジネスローン
- クラウドファクタリング

4 多彩な決済手段 (NCBビジネスダイレクト)

- 振込・振替
- 総合振込・給与振込
- 口座振替・税公金支払



NCBビジネスステーション アプリ

月額利用料 ¥0

見やすく、使いやすい画面デザインで、各種の機能やサービスがご利用いただけます。



1 残高・入出金明細

- 口座券面または口座一覧をタップすると明細確認できます。
- 他行口座も確認できます。

2 振込・振替

- 初期設定後、ワンタイムパスワードおよび暗証番号不要で振込ができます。

3 ビジネスローン _テトラ

- 本アプリ上に借入条件が表示されます。
- 最短でお申込み当日にお借入が可能です。

4 その他の 各種サービス

- 請求書を資金化できるクラウドファクタリング、補助金・助成金の無料診断サービス、売掛金の保証サービスなどを利用できます。

トランザクション認証ソフトウェアトークンを採用
高いセキュリティを確保し、安全な取引を提供します。

西日本シティ銀行

公益財団法人西日本シティ財団

第11回「NCB音楽祭2025」 「歓喜と喝采」を開催

西日本シティ銀行は、2025年12月12日、公益財団法人西日本シティ財団（理事長 久保田 勇夫）との共催で、第11回「NCB音楽祭2025」〈歓喜と喝采〉を福岡シンフォニーホール（アークロス福岡）で開催しました。



第11回「NCB音楽祭2025～歓喜と喝采～」

11回目となる今回は、「Passion（情熱）」をテーマに、「NCBフロイデ合唱団※」によるベートーヴェン作曲 交響曲第9番（第九）の合唱のほか、情熱的な数々の曲を約1500名の鑑賞者にお届けしました。

なお、2026年12月に開催予定の第12回「NCB音楽祭」に向け、新たに結成した「フロイデ合唱団」は5月10日にキックオフし、合唱の練習を開始しました。

※NCBフロイデ合唱団とは、地域の皆さまと行員で結成した合唱団

西日本F H

西日本シティ銀行

NCBリサーチ&コンサルティング

第19回「新春経済講演会」を開催



久保田特別顧問



栗原副頭取



司会 井野社長

久保田特別顧問は、大蔵官僚時代に日米金融交渉をはじめ、多くの国際交渉に最前線で携わるなど自身の豊富な経験をもとに、アメリカ、日本それぞれの経済・金融政策を分析した上で、今後の見通しについて講演しました。

なお、司会はNCBリサーチ&コンサルティングの井野社長を務めました。

3月には、講演内容をまとめた「講演録」を発行し、お取引先などに配布しました。

第11回「日本の神様と 舞い踊ろう！地域に根付く 神楽と神舞」を開催

西日本シティ銀行は、2026年2月23日、公益財団法人西日本シティ財団（理事長 久保田 勇夫）との共催で、第11回「日本の神様と舞い踊ろう！地域に根付く神楽と神舞」を大濠公園能楽堂で開催しました。

11回目となる今回は、「国指定重要無形民俗文化財」に指定されている福岡県豊前市の「大村神楽」、宮崎県西米良村の「小川神楽」、長崎県平戸市の「平戸神楽」、山口県周南市の「三作神楽」を披露いただき、観客の皆さまに優雅な時間と空間をお届けしました。



第11回「日本の神様と舞い踊ろう～地域に根付く神楽と神舞～」

西日本シティ銀行

公益財団法人西日本シティ財団

「第27回 西日本シティ財団アジア貢献賞」・

「第21回 西日本シティ財団アジア未来大賞」の受賞者を表彰

公益財団法人西日本シティ財団（理事長 久保田 勇夫）は、2026年3月2日、「第27回 西日本シティ財団アジア貢献賞」、「第21回 西



「第27回 西日本シティ財団 アジア貢献賞」受賞者および「第21回 西日本シティ財団 アジア未来大賞」受賞者

日本シティ財団 アジア未来大賞」の受賞者を表彰しました。

「アジア貢献賞」は、九州・沖縄・山口地域に拠点を置き、アジアの発展およびアジアとの国際交流に貢献している団体および個人を表彰しています。

また、「アジア未来大賞」は、小中学校を含む学生や教職員等の活動を通してアジアとの国際交流に貢献している団体および個人を表彰しています。これまでアジア貢献賞は84団体・個人、アジア未来大賞は42団体・個人を表彰しました。

「第27回 西日本シティ財団 アジア貢献賞」受賞者

受賞団体	特定非営利活動法人 ISAPH (理事長 小早川 隆敏)	一般社団法人 福岡国際市民協会 (代表理事 プイ テイトウ サンゴ)	一般社団法人 南島原ひまわり観光協会 (会長 近藤 一海)
活動地域	福岡県久留米市、ラオス	福岡市	長崎県南島原市

「第21回 西日本シティ財団 アジア未来大賞」受賞者

受賞団体	下関青少年合唱隊 (代表・指揮者 能野 則之)	那覇市立銘苅 ^{めかる} 小学校 (校長 渡口 里夏)
活動地域	山口県下関市、中国・青島市、韓国・釜山市	沖縄県那覇市

※過去の受賞者等の詳細は、西日本シティ銀行ホームページの「地域貢献・文化・SDGs」>「アジア貢献賞、アジア未来大賞など」からご覧いただけます。

第53回「経営者賞」の受賞者を表彰

公益財団法人経営者顕彰財団（理事長 久保田 勇夫）は、2026年4月22日、第53回「経営者賞」の受賞者を表彰しました。

経営者顕彰財団は、九州・山口地方において中小企業の経営・技術に優れた業績をおさめ、地域経済の発展に貢献された経営者を1973年以降毎年表彰し、これまでに192名の方に「経営者賞」を贈りました。



第53回「経営者賞」受賞者（左から児玉氏、中島氏、脇山氏）

受賞者	児玉 盛介 氏	中島 健介 氏	脇山 章治 氏
企業名職	西海陶器株式会社 (代表取締役会長)	太陽セランドホールディングス株式会社 (代表取締役会長)	株式会社北洋建設 (取締役最高顧問)

※過去の受賞者等の詳細は、西日本シティ銀行ホームページの「地域貢献・文化・SDGs」>「九州・山口の優れた経営者を表彰」からご覧いただけます。

特長



脳の活性化

新入社員研修や階層別研修はもちろん、その他全社研修などで社員の皆さまの脳の活性化が期待できます。

協調性・多様性・コミュニケーション能力の向上

ワークショップを通じて、参加者の意見を聞くことにより自身のアイデアを広げることができます。また、参加者の協調性・多様性・コミュニケーション能力の向上が期待できます。

チームワークの重要性を学ぶ

ワークショップを通じて、参加者同士の一体感が生まれ、チームワークの重要性を学ぶことができます。

プレゼン力の向上

グループの卓で自分のアイデアを発表したり、最後にグループ代表アイデアを他グループに発表することによりプレゼン力の向上が期待できます。

西日本シティ銀行は、2026年1月19日、株式会社九州博報堂と共同で、企業向けのコンサルティングの一環として、発想力を鍛えるワークショップ型の研修プログラム「脳みそほぐし」を立ち上げました。

「脳みそほぐし」は、2019年に共同開発したオリジナルのカードゲームを使用するイベントで培ったノウハウを活用したもので、西日本シティ銀行と株式会社九州博報堂の専門人材が進行役を務め、参加者に短時間で「地域を活性化するアイデア」を考えていただくワークショップです。

西日本シティ銀行は、地元企業とともに地域に根ざした取組みを通じて、地域の発展と活性化に貢献してまいります。

発想力を鍛える研修プログラム「脳みそほぐし」を立上げ

西日本シティ銀行



ワークショップの様子



シティアスCOMのブース



特別授業「お金のがっこう」



西日本シティ銀行のブース

子ども向け職業体験イベント「ワークショップコレクション in 福岡2026」にブースを出展

西日本シティ銀行

シティアスCOM

西日本シティ銀行とシティアスCOMは、2026年3月21日・22日、九州大学伊都キャンパスで開催された、モノづくりや職業体験ができる子ども向けイベント「ワークショップコレクション in 福岡2026」にブースを出展しました。

「学べる遊べるワンク銀行」と題した西日本シティ銀行のブースでは、札勘や西日本シティ銀行の制服着用などが体験できる「銀行のお仕事体験」、所持金の増減を体験しながら金銭感覚を身につける「巨大すごろくゲーム」、「西日本シティビル」を模した「貯金箱づくり」、SDGsを意識しながら街を元気にするアイデアを考える「街ーカードゲーム」のほか、お金や銀行の役割について教える「お金のがっこう」を開催しました。二日間、約5千人の子どもたちに西日本シティ銀行ブースを体験いただきました。

また、シティアスCOMのブースでは、マイクラフトでブロックを組み立て、ミッションをクリアするといったプログラミング体験の場を提供しました。

地域金融グループならではの 子ども・学生向け金融リテラシー教育への取組み

西日本F Hグループは、地元の学校や地方自治体等と連携し、金融リテラシー向上に資する金融経済教育に取り組んでいます。

金融講座

西日本シティ銀行は、地元の大学との産学連携協定に基づき、大学生が実践的な金融リテラシーを身につけるための支援として、西日本シティ銀行や西日本シティT証券、九州カードの役職員を派遣して金融講座を毎年、開講しています。2025年度は、4月～7月に九州産業大学、10月～11月に西南学院大学、12月に福岡大学の合計900名の学生に受講いただきました。



西南学院大学「実践仕事塾～金融スペシャリスト育成講座」

大学生向け資産形成セミナー



地元の大学で開かれたセミナー

西日本シティ銀行は、地元の大学生向けに、資産形成の重要性や金融トラブルからの防衛などをテーマとしたセミナーを毎年実施しています。2025年度は九州大学と西南学院大学の2校合計750名の学生に受講いただきました。

営業店での子ども向け「お金のがっこう」の開催

西日本シティ銀行は、各営業店においても、お金の価値や銀行の役割を教える「お金のがっこう」を開催し、子ども向けの金融教育に取り組んでいます。2025年度は52か店で計70回実施し、約4,000名に参加していただきました。



原西小学校で実施した「お金のがっこう」

ALL長崎 金融リテラシー向上プロジェクト



島原商業高校での出張授業の様子

長崎銀行および西日本シティ銀行長崎支店は、2023年10月に、長崎県内の他の金融機関などと共に、県内の金融リテラシー向上に取り組む「ALL長崎 金融リテラシー向上プロジェクト推進協議会」を組成し、長崎県内の高校に講師を派遣しています。2025年度は計5校に派遣し、約600名の学生に出張授業を行いました。

西南学院大学と産学連携協定を締結



左から西南学院大学今井学長、シティアスコム池田社長

シティアスコムは、2025年11月20日、西南学院大学（学長今井尚生）と「産学連携協力に関する協定」を締結し、同日締結式を開催しました。

本協定は、シティアスコムと西南学院大学との間で連携・協力を促進し、相互の発展に資するとともに、地域の発展と大学の教育・研究をはじめとする学術の振興に寄与することを目的としています。

シティアスコムは、地域企業として、これまで培ってきた情報システムサービスに関する知見やノウハウを活かし、地域の活性化に貢献してまいります。

産学連携協定の主な内容

- (1) 地域共生およびSTEAM教育※を通じた学生の育成に関すること
- (2) 地域共生、STEAM教育、および学校DXにおける双方の教職員等の連携に関すること
- (3) その他、必要と認められる連携・協力に関すること

※STEAM 教育：理数教育に、「創造性教育」を加えた教育理念
科学 (Science)、技術 (Technology)、工学 (Engineering)、
アート (Art)、数学 (Mathematics) の5つの領域

「第6回西日本FHビジネスコンテスト」 「OPEN INNOVATION HUB」最終選考会を開催

西日本FHは、2026年2月19日、「第6回西日本FHビジネスコンテスト」OPEN INNOVATION HUBの最終選考会を開催しました。今回は、「先進技術を活用した顧客体験や価値の創造／地域を支える地場企業の課題解決」をテーマとしたアイデアを募集し、アイデア部門（リリース前の事業アイデアやサービス検証段階を対象とした部門）とグロース部門（リリース済の事業を対象とした部門）に、全国各地から合わせて153組の応募がありました。最終選考会では、1次選考、2次選考を勝ち抜いたアイデア部門2組、グロース部門9組のファイナリストによるプレゼンテーションを行い、最優秀賞はそれぞれ、学生起業チーム「Luke Nexus」、株式会社Srushが受賞しました。



最終選考会

グロース部門

最優秀賞

株式会社Srush

AIデータ
活用基盤
「データ統一クラウド」

アイデア部門

最優秀賞

学生起業チーム
「Luke Nexus」

学生向け
異分野共創マッチング
プラットフォーム

「第6回 ワンクぬりえコンテスト 2025 with 長崎」を開催

長崎銀行は、西日本シティ銀行および長崎新聞社と共同で実施した「第6回ワンクぬりえコンテスト2025 with 長崎」の入賞作品を発表し、2026年3月28日に長崎市内で授賞式を開催しました。

今回のテーマは2025年が戦後80年の節目であったことから「ワンクと平和・明るい未来へ」とし、平和祈念像、浦上天主堂などを題材にしました。これまで「長崎県在住、12歳まで」としていた募集対象を同県内に住む全世代の方に拡大した結果、0歳から100歳を超える幅広い世代から過去最多となる5,455点もの応募がありました。その中から厳正な審査を経て16作品を表彰し、グランプリに選ばれた田上 萌佳さんの作品を長崎の街を走るバスにラッピングしました。



長崎銀行開頭取による表彰状授与の様子



受賞者の集合写真



審査の様子



審査の様子

ラッピングイメージ



田上 萌佳さん 30歳(長崎市)

長崎銀行頭取賞

グランプリ

入賞

グルーヴィジョンズ賞

西日本シティ銀行 長崎支店長賞

長崎新聞社賞



大谷 幸輝さん 46歳(長崎市)



栗山 うずきさん 51歳(長崎市)



前川 静恵さん 77歳(長崎市)



宮崎 愛梨さん 49歳(長崎市)



吉富 徳典さん 68歳(長崎市)



梅木 光さん 13歳(長崎市)



金崎 未来さん 12歳(長崎市)



栗山 夏波さん 15歳(長崎市)



中橋 愛瑠さん 17歳(長与町)



原口 果歩さん 14歳(諫早市)



竹中 愛菜さん 10歳(長崎市)



本多 紗来さん 12歳(長崎市)



森下 望生さん 11歳(南島原市)



山口 牧人さん 7歳(雲仙市)



大和 京花さん 11歳(長崎市)

※入賞者の年齢は、応募当時のもの



(左から中野氏、谷川会長、本郷氏)

西日本シティ銀行は、地元・九州の歴史や文化をひもとき、地域の魅力を再発見しようと、情報誌「九州流」を発行しています。このほど刊行した「九州流16号」の第二特集「福岡城と黒田家」では、福岡藩の初代藩主・黒田長政の業績に迫りました。

岡城と黒田家」では、福岡藩の初代藩主・黒田長政の業績に迫りました。

長政は父・孝高(如水)とともに壮大な福岡城を築き、都市・福岡の礎を定めました。

東京大学史料編纂所教授の本郷和人氏(現・藤田医科大学リベラルアーツセンター長)、福岡市博物館総館長の中野等氏、西日本シティ銀行の谷川浩道代表取締役会長が、戦国乱世の終焉という時代背景を踏まえ、福岡城築城の経緯や、黒田家と徳川家の関係について語り合いました。

第二特集は、鹿児島を代表する伝統工芸品「薩摩切子」の復元40周年を取り上げました。語り合いました。



2026年
1月刊行

歴史を振り返りながら地域の魅力をより深く知る 新ふるさと発見誌『九州流 Kyushu Ryū』16号

西日本シティ銀行は元気な九州・福岡をさらに元気にするTV番組をお届けしています



毎週日曜日 17時25分～17時30分 TNCテレビ西日本にて放送中

ミライへの1minute

自身が信じる芸術の道に情熱を注ぐ「若きアーティスト」たちの活動を、1分間のパフォーマンスとともに紹介しています(2026年3月末までに279回放送)。



毎週土曜日 18時50分～18時55分 RKB毎日放送にて放送中

志、情熱企業

特徴ある技術力やノウハウ等を持ち、未来に飛躍する地元企業の志と情熱を紹介しています(2026年3月末までに901回放送)。



毎週土曜日 22時54分～23時00分 KBC九州朝日放送にて放送中

温故知新 発見!九州スピリット

進取の気性に富んだ九州人スピリットをテーマに、意外に知られていない人物、出来事、祭りなどを取り上げ、幅広い分野で「知らなかった九州」を紹介しています(2026年3月末までに593回放送)。



毎週土曜日 9時25分～9時30分 FBS福岡放送にて放送中

まちが★スキー

「地域の元気を応援する」をコンセプトに、ひと・まち・しごとにスポットを当て、地域の活性化に向けたさまざまな取組みを紹介しています(2026年3月末までに416回放送)。

安心に向けた 取組み

西日本シティ銀行および長崎銀行では、インターネットバンキングを利用した不正送金や、ニセ電話詐欺（振り込め詐欺）等の金融犯罪の被害未然防止に向けた取組みを行っています。

インターネットバンキングのセキュリティ強化に向けた取組み

西日本シティ銀行のシステム対策例

NCBダイレクト（個人のお客さま向け）では、お客さまが安心してインターネットバンキングをご利用いただけるよう、さまざまなセキュリティ対策に取り組んでいます。特に、安全性が向上する「ワンタイムパスワード」のご利用を強くお勧めしており、スマートフォンをお持ちのお客さまにはアプリ（ソフトウェア）を、お持ちでないお客さまに



ハードトークン



ソフトトークン

はキーホルダー型のワンタイムパスワード生成機（ハードトークン）をご提供しています。

なお、振込等のお取引については、「ワンタイムパスワード」のご利用を必須とさせていただいています。

NCBビジネスダイレクト（法人・個人事業主のお客さま向け）においては、ソフトトークンやハードトークンで利用可能な「ワンタイムパスワード」のご利用を必須とさせていただいているのに加え、利用登録したパソコン以外から接続できない仕組みも、ご利用いただけます。

長崎銀行のシステム対策例

ながさきインターネットバンキング（個人のお客さま向け）には、「ワンタイムパスワード」を導入しており、振込等のお取引時にワンタイムパスワードのご利用を必須とさせていただくことで、セキュリティ向上を図っています。

ながさきビジネスダイレクト（法人・個人事業主のお客さま向け）には、登録したパソコン以外からは接続できない仕組みを導入しています。加えて、キーホルダー型のワンタイムパスワード生成機（ハードトークン）を必ずご利用いただいています。

お客さまご利用の パソコンへの対策

西日本シティ銀行および長崎銀行のホームページでは、偽サイトへの誘導（フィッシング）や、ウイルス（スパイウェア）によるパスワード等の窃取を防止する「不正送金対策ソフト」を、無料でご提供しています。

ニセ電話詐欺

（振り込め詐欺）などの被害未然防止に向けた取組み

携帯電話で通話しながらATMをご利用のお客さまや、窓口で出金のお客さまには、金融犯罪被害を防止する観点から、職員が声をかけさせていただくことがありますので、何卒ご理解のほどお願いします。また、私ども職員や警察官が、電話や店舗外で暗証番号や口座番号、残高を尋ねたり、ATMの操作を電話で依頼することはありませんのでご注意ください。

障がいのあるお客さまに 配慮した取組み

営業店と店舗外ATMコーナーをあわせて、西日本シティ銀行は合計996台、長崎銀行は合計41台の視覚障がい者対応ATMを設置しています（2026年3月末現在）。また、代筆・代読の対応を実施しています。詳しくは、お気軽に取引店にお問い合わせください。

西日本シティ銀行のお客さま ご相談・お問い合わせ

●ご意見・苦情

◎西日本シティ銀行お客さまサービス室

☎ 0120-162-105 または **FAX.092-461-1916**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日および銀行休業日は除きます）

24時間

◎西日本シティ銀行の本店窓口

●金融犯罪被害に関するご相談（振り込め詐欺・預金不正引出し等）

◎金融犯罪被害に関する相談窓口

☎ 0120-797-919

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日および銀行休業日は除きます）

※営業時間外（平日夜間・休日）の場合はATMセンター宛にご連絡ください。
フリーダイヤル:0120-252-557

●金融ADR（裁判外紛争解決手続き）制度 指定紛争解決機関

◎全国銀行協会 相談室

TEL.0570-017109 または **TEL.03-5252-3772**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日および銀行休業日は除きます）

◎信託協会 信託相談所

☎ 0120-817-335 または **TEL.03-6206-3988**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:15（祝日および銀行休業日は除きます）

●金融円滑化相談窓口

すべての営業店のご融資窓口およびビジネスサポートセンター、ローン営業室においてご相談・お申込みください。

●ローンのご返済にお困りの皆さまへの相談窓口

◎ローンご返済相談窓口

☎ 0120-014-862

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日および銀行休業日は除きます）

長崎銀行のお客さま ご相談・お問い合わせ

●ご意見・苦情

◎長崎銀行 お客さま相談室

TEL.095-829-4100 または **FAX.095-821-3185**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00

24時間

（祝日および銀行休業日は除きます）

◎長崎銀行の本店窓口

●金融犯罪被害に関するご相談（振り込め詐欺・預金不正引出し等）

◎金融犯罪被害に関する相談窓口（事務部）

TEL.095-816-2211

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日および銀行休業日は除きます）

●金融ADR（裁判外紛争解決手続き）制度 指定紛争解決機関

◎全国銀行協会 相談室

TEL.0570-017109 または **TEL.03-5252-3772**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日および銀行休業日は除きます）

●金融円滑化相談窓口

すべての営業店のご融資窓口および、ながさきローンプラザにおいてご相談・お申込みください。

●ローンのご返済にお困りの皆さまへの相談窓口

◎ローンご返済相談窓口

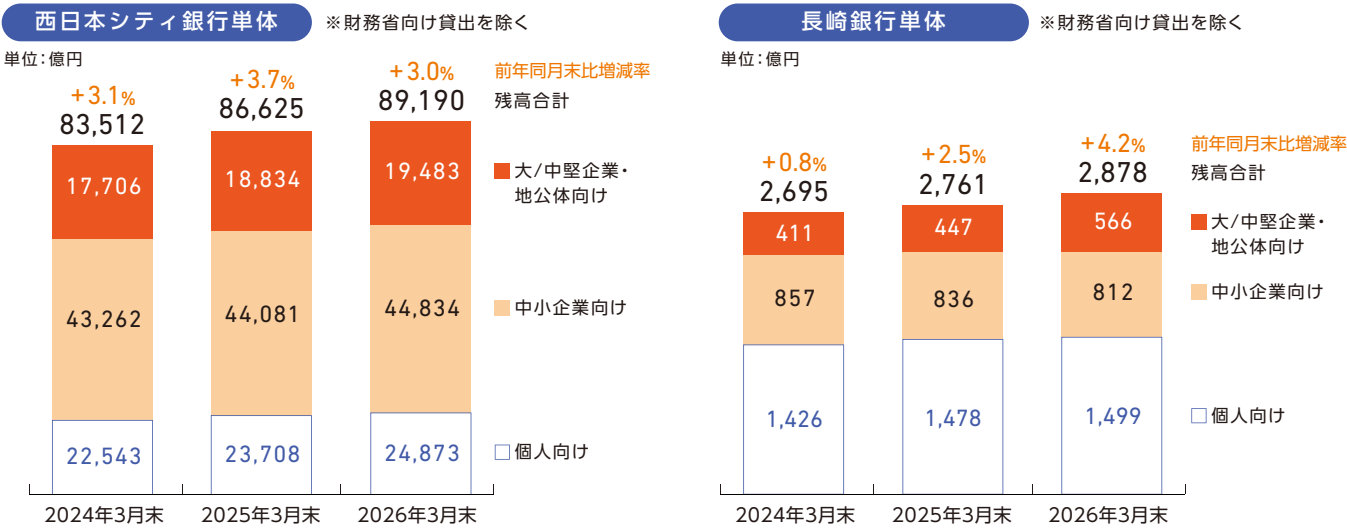
TEL.095-828-0558

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日および銀行休業日は除きます）

損益の状況

西日本 F H 連結				西日本シティ銀行単体			長崎銀行単体		
単位:百万円				単位:百万円			単位:百万円		
	2026/3期 通期	前期比	2025/3期 通期	2026/3期 通期	前期比	2025/3期 通期	2026/3期 通期	前期比	2025/3期 通期
経常収益	246,860	50,445	196,415	217,676	49,165	168,511	6,031	883	5,148
業務粗利益	131,877	9,552	122,325	109,578	7,955	101,623	4,194	593	3,601
資金利益	130,233	27,388	102,845	123,674	26,852	96,822	4,550	598	3,952
[うち貸出金利息]	[122,170]	[28,617]	[93,553]	[117,819]	[28,131]	[89,688]	[4,314]	[694]	[3,620]
[うち預金・譲渡性預金利息] △	[23,874]	[16,474]	[7,400]	[23,301]	[16,111]	[7,190]	[633]	[405]	[228]
役務取引等利益	25,236	1,806	23,430	11,406	623	10,783	△354	△4	△350
特定取引利益	446	△143	589	13	4	9	-	-	-
その他業務利益	△24,038	△19,498	△4,540	△25,515	△19,523	△5,992	△1	△1	-
[うち国債等債券損益]	[△26,419]	[△18,321]	[△8,098]	[△26,413]	[△18,316]	[△8,097]	[△1]	△1	[-]
経費 △	86,990	4,093	82,897	72,634	3,526	69,108	3,444	293	3,151
実質業務純益	44,886	5,458	39,428	36,944	4,430	32,514	750	301	449
コア業務純益	71,306	23,780	47,526	63,358	22,746	40,612	751	302	449
株式等関係損益	20,912	8,810	12,102	20,412	8,420	11,992	-	-	-
信用コスト △	7,535	1,704	5,831	6,112	1,518	4,594	△38	△4	△34
その他臨時損益	520	682	△162	△18	945	△963	23	△6	29
経常利益	58,784	13,247	45,537	51,226	12,278	38,948	812	299	513
特別損益	△637	△117	△520	△627	△191	△436	△13	90	△103
法人税等 △	17,449	3,949	13,500	15,162	3,693	11,469	250	186	64
非支配株主に帰属する当期純利益 △	581	48	533						
当期純利益（連結は親会社株主帰属分）	40,116	9,134	30,982	35,437	8,395	27,042	549	204	345

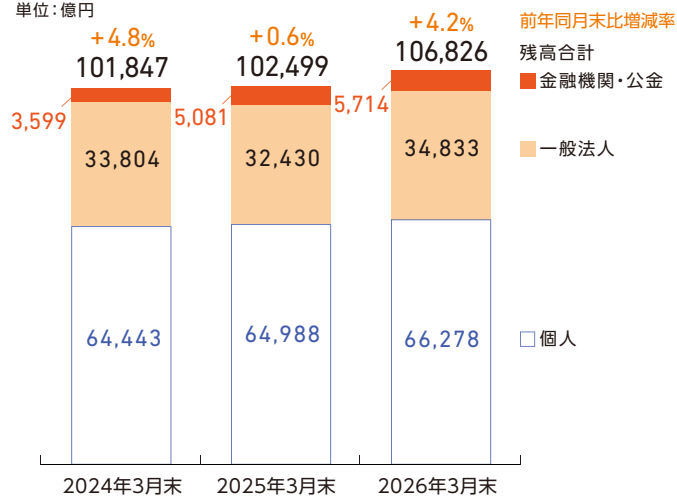
貸出金の残高



預金・譲渡性預金の残高

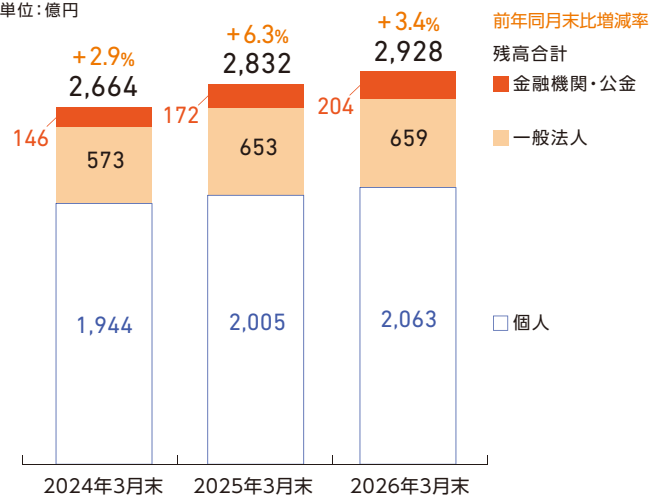
西日本シティ銀行単体

単位：億円



長崎銀行単体

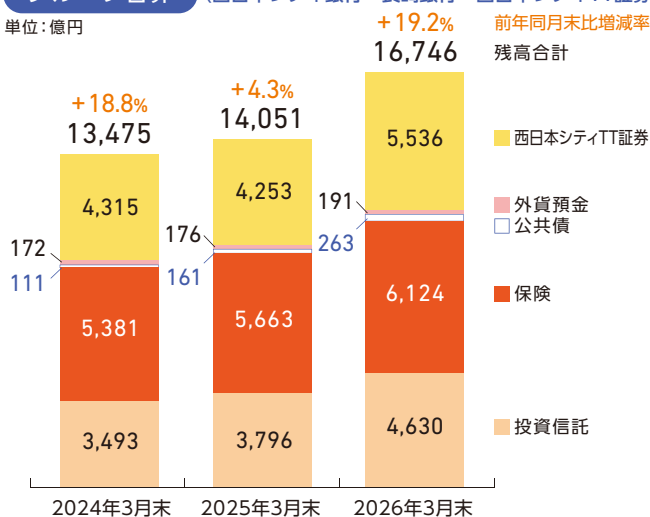
単位：億円



預り資産の残高

グループ合算 (西日本シティ銀行+長崎銀行+西日本シティ証券)

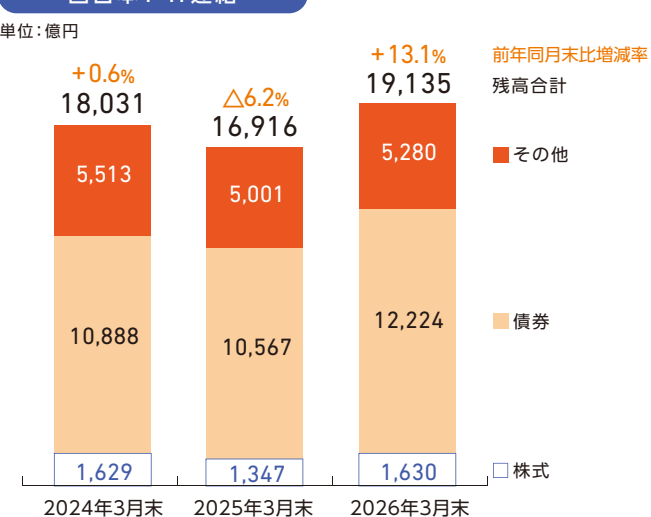
単位：億円



有価証券の残高

西日本 F H 連結

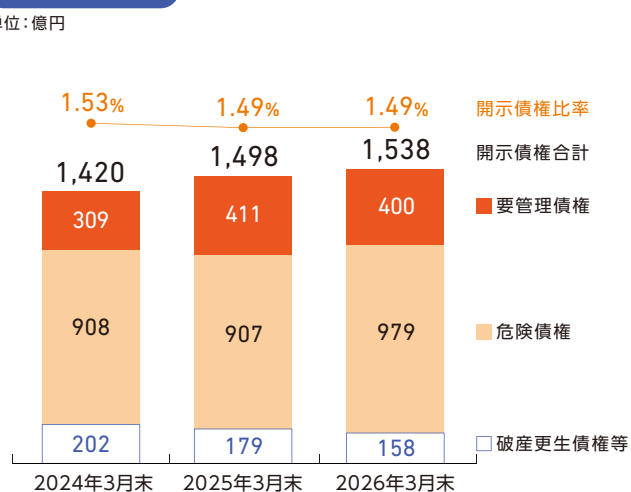
単位：億円



金融再生法開示債権

2行合算 (西日本シティ銀行+長崎銀行)

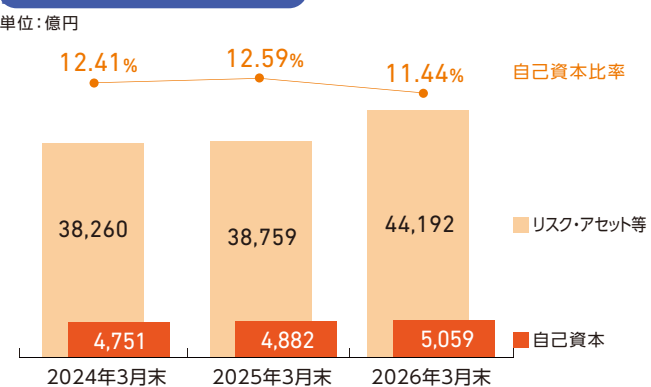
単位：億円



自己資本比率

西日本 F H 連結

単位：億円



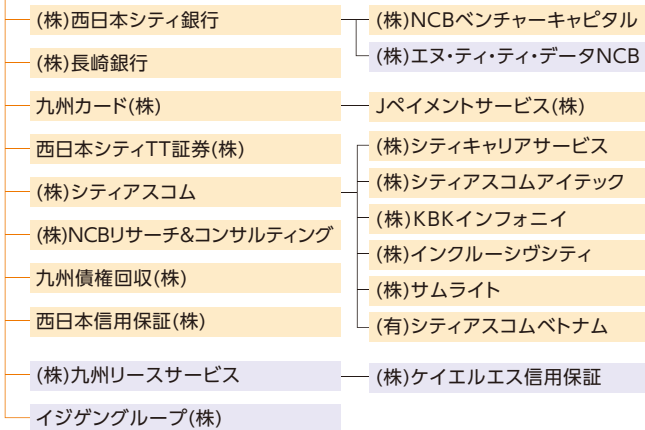
※リスク・アセット等の算出において次の手法を採用しています。
信用リスク・アセット額…基礎的的内部格付手法
オペレーショナル・リスク相当額…標準的計測手法

プロフィール

グループストラクチャー

子会社 関連会社

(株)西日本フィナンシャルホールディングス



●株式会社 西日本フィナンシャルホールディングス

設立日	2016年10月3日
本店所在地	福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号
代表者	取締役社長(代表取締役) 村上 英之
事業内容	銀行持株会社
資本金	500億円
決算期	3月31日
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場及び福岡証券取引所本則市場
単元株式数	100株

●株式会社 西日本シティ銀行

設立日	1944年12月1日
本店所在地	福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号
代表者	取締役頭取(代表取締役) 村上 英之
事業内容	銀行業
店舗数	176か店
従業員数	3,423名
総資産	13兆4,720億円
資本金	857億円
総預金	10兆6,826億円
総貸出金	10兆16億円
預り資産残高	1兆572億円

●株式会社 長崎銀行

設立日	1912年11月11日
本店所在地	長崎市栄町3番14号
代表者	取締役頭取(代表取締役) 開地 龍太郎
事業内容	銀行業
店舗数	24か店
従業員数	198名
総資産	3,795億円
資本金	76億円
総預金	2,928億円
総貸出金	2,878億円
預り資産残高	637億円

●九州カード 株式会社

本店所在地	福岡市博多区博多駅前四丁目3番18号 サンライフセンタービル
代表者	取締役社長(代表取締役) 川本 惣一
事業内容	クレジットカード業・信用保証業
総資産	596億円
資本金	1億円
会員数	980千人
加盟店数	63千店
カード取扱高	6,076億円(2025年4月~2026年3月)
保証残高	861億円

●西日本シティTT証券 株式会社

本店所在地	福岡市中央区天神一丁目10番20号
代表者	取締役社長(代表取締役) 定野 敏彦
事業内容	金融商品取引業
拠点数	11拠点
総資産	205億円
資本金	30億円
預り資産残高	5,536億円

●株式会社 シティアスコム

本店所在地	福岡市早良区百道浜二丁目2番22号 AITビル
代表者	取締役社長(代表取締役) 池田 勝
事業内容	情報システムサービス業
拠点数	7拠点
総資産	88億円
資本金	4.4億円
資格保有者数	1,230人(延べ人数)

●株式会社 NCBリサーチ&コンサルティング

本店所在地	福岡市博多区下川端町2番1号 博多座・西銀ビル13階
代表者	取締役社長(代表取締役) 井野 誠司
事業内容	調査研究業・経営相談業・有料職業紹介業
総資産	8.7億円
資本金	0.2億円
会員数	4.8千社

●九州債権回収 株式会社

本店所在地	福岡市早良区百道浜二丁目2番22号 AITビル
代表者	取締役社長(代表取締役) 嶋山 一仁
事業内容	債権管理回収業
総資産	30億円
資本金	5億円

●西日本信用保証 株式会社

本店所在地	福岡市早良区百道浜二丁目2番22号 AITビル
代表者	取締役社長(代表取締役) 友池 精孝
事業内容	信用保証業
総資産	125億円
資本金	0.5億円
保証残高	1兆4,392億円

●株式会社 九州リースサービス

本店所在地	福岡市博多区博多駅前四丁目3番18号 サンライフセンタービル
代表者	取締役社長(代表取締役) 磯山 誠二
事業内容	リース業
総資産	1,992億円
資本金	29億円
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場及び福岡証券取引所本則市場

●イジゲングループ 株式会社

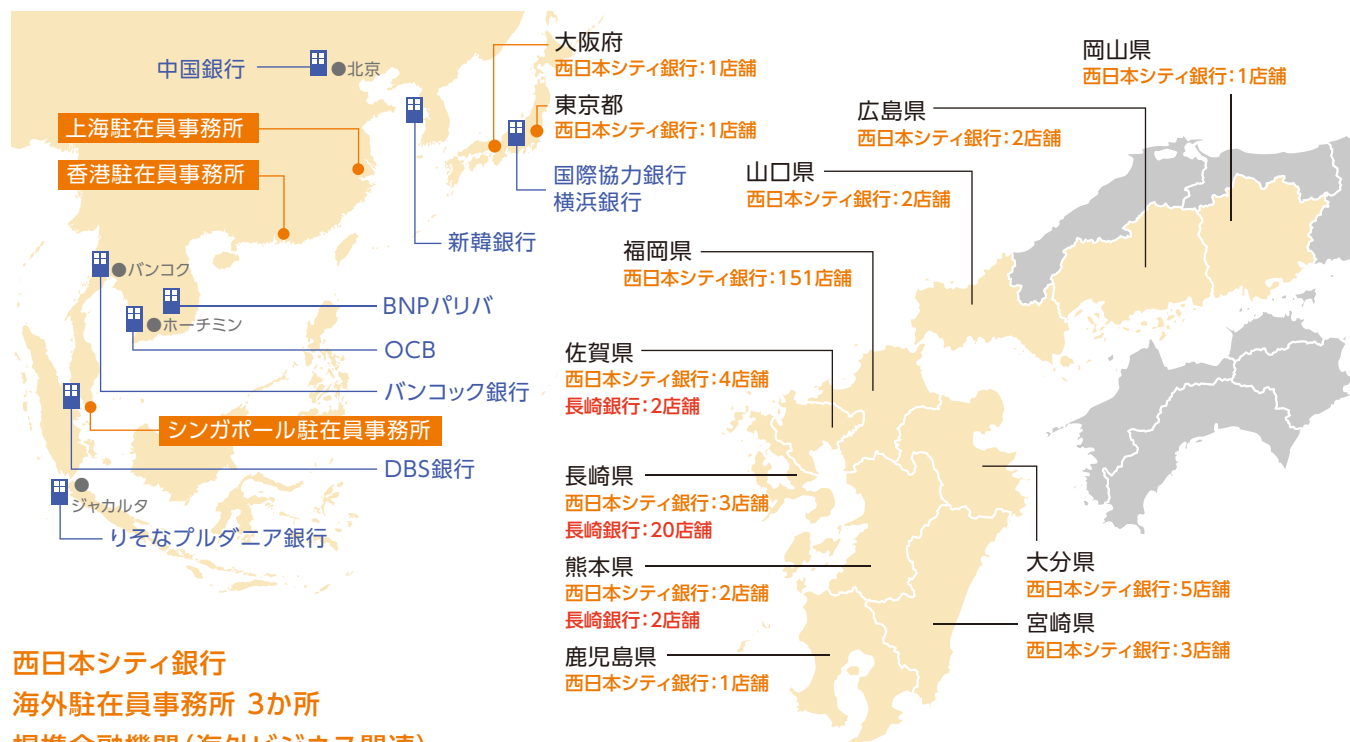
本店所在地	大分市中央町一丁目4番10号 第一メディアシティビル5階
代表者	取締役社長(代表取締役) 池 尚大
事業内容	DXコンサルティング業・情報システムサービス業
総資産	3.5億円
資本金	0.8億円

※各種計数は2026年3月末時点の単体計数です。

企業名	本店所在地	事業内容
株式会社 NCBベンチャーキャピタル	福岡市中央区天神二丁目5番28号	投資事業組合財産の運用・管理業
株式会社 エヌ・ティ・ティ・データNCB	福岡市博多区博多駅前一丁目17番21号 NTTDATA博多駅前ビル7階	情報システムサービス業
Jペイメントサービス 株式会社	福岡市博多区博多駅前四丁目3番18号 サンライフセンタービル	決済代行業
株式会社 シティキャリアサービス	福岡市博多区博多駅東二丁目5番37号 博多ニコビル9階	労働者派遣業、情報システムサービス業
株式会社 シティアスコムアイテック	福岡市早良区百道浜二丁目2番22号 AITビル	情報システムサービス業
株式会社 KBKインフォニイ	福岡市博多区博多駅東二丁目6番23号 博多駅前第2ビル	情報システムサービス業
株式会社 インクルーシヴシティ	福岡市早良区百道浜二丁目2番22号 AITビル	データ分析・コンサルティング業
株式会社 サムライト	福岡市早良区百道浜二丁目2番22号 AITビル	経営相談業、情報システムサービス業
有限会社 シティアスコムベトナム	12AF, Peakview Tower, 36 Hoang Cau, O Cho Dua Ward, Hanoi, Vietnam	情報システムサービス業
株式会社 ケイエルエス信用保証	福岡市博多区博多駅前三丁目4番8号 グヴィンチ博多シティ4階	信用保証業

(2026年5月1日時点)

ネットワーク



西日本シティ銀行

海外駐在員事務所 3か所

提携金融機関(海外ビジネス関連)

リそなブルダニア銀行(インドネシア) 1996年提携
 中国銀行(中国) 2001年提携
 国際協力銀行(日本) 2001年提携
 新韓銀行(韓国) 2007年提携
 OCB(ベトナム) 2008年提携
 BNPパリバ(ベトナム) 2008年提携
 バンコック銀行(タイ) 2009年提携
 横浜銀行(日本) 2016年提携
 DBS銀行(シンガポール) 2017年提携

西日本シティ銀行 176店舗

ATM 1,011台

店舗内/581台 店舗外/430台

※コンビニATM除く

西日本シティTT証券 11拠点

福岡県/8拠点 宮崎県/1拠点

熊本県/1拠点 愛知県/1拠点

長崎銀行 24店舗

ATM 41台

店舗内/25台 店舗外/16台

※コンビニATM除く

(2026年3月末現在)

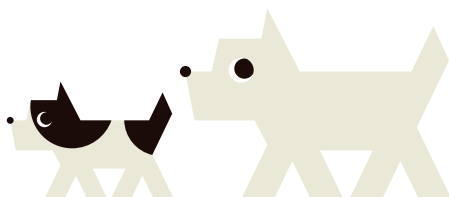
株式のご案内

- 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会** 毎年6月開催
- 配当金の** 【期末配当金】3月31日の最終の株主名簿に記録された株主様に対してお支払いします。
お支払いについて 【中間配当金】取締役会の決議によって中間配当を行う場合は、9月30日の最終の株主名簿に記録された株主様に対してお支払いします。
 配当金のお受取りには、当社グループの西日本シティ銀行または長崎銀行の預金口座振込を指定いただくと、迅速で便利です。
- 基準日** 定時株主総会については3月31日とします。その他必要があるときは、あらかじめ公告します。
- 公告方法** 電子公告による公告とし、当社ホームページ(<https://www.nnfh.co.jp>)に掲載します。
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、西日本新聞と日本経済新聞に掲載します。
- 株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
及び特別口座の (1)事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
口座管理機関 (2)お問い合わせ先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部/
 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00(祝日および銀行休業日は除きます)
- インターネット** <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency>
ホームページURL (よくあるご質問(FAQ)) https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal
- ご注意** 証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
 証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記お問い合わせ先までご連絡ください。
 なお、お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

※本誌に関する計数につきましては、原則として単位未満を切り捨てて表示しています。※本誌に掲載している商品概要については、2026年6月5日時点の内容です。

2026年6月発行 株式会社西日本フィナンシャルホールディングス 経営企画部 総務広報グループ

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号 TEL 092-476-5050(代表) ホームページ <https://www.nnfh.co.jp>



©GROOVISIONS

K30 R70



本誌は、「木になる紙」及び植物油インキを使用しています。「木になる紙」は、地元九州・福岡の森林整備に資する間伐材を原料としています。



西日本FH

西日本フィナンシャルホールディングス

<https://www.nnfh.co.jp>

